

科目名	宗教と人間（釈尊と現代） E					単位	2.0
担当教員	飯田 真宏						
授業形態	講義	開講期間	前期	配当年次	1	授業番号	4205

●授業のテーマ

釈尊の生涯と教えを通して、人間とは何かを考える。

●到達目標

仏教に興味を持つ。そして、現代社会を生きる私がどこに立っているのか、を改めて考える。

●学習内容(授業概要)

私たちは、何を基準にし、行動しているのだろうか？

私は本当は何を大切にしたいのか。思い通りにならない私の心を押さえつけ、大人として社会に妥協するしかないのだろうか。

授業を通して考えていきたいのは、本当に「正しい」ものはあるのか、という社会への疑問。そして、様々なものに縛られている私（人間）とは何か、を今一度、釈尊の生涯と教えを通して考えてみることである。

釈尊（ブッダ）の生涯と教えは、決してあなたと無関係なものではない。仏教（ブッダ）が多くの小説やマンガの題材になっていることを考えれば、そこには現代社会にも通ずる「おもしろさ」が存在するはずである。

釈尊、仏教に興味を持ってもらうことを何よりも願って、授業を進めていきたいと思う。

●学習内容(授業計画)

《前期》

1. はじめに —宗教とは何か？—
2. 釈尊の生きた時代と社会 —カースト制度とは？—
3. 差別と宗教 —人間の価値？—
4. 誕生 —いのちとは？—
5. 若き日の釈尊 —私、悩んでます—
6. 四門出遊 —現実と出会う—
7. 出家 —家出との違いは？—
8. 修行 —魔の誘惑—
9. 目覚め —私を苦しめるもの—
10. 法を説く —あなたに伝えたい—
11. 釈迦国滅亡 —差別によって起きた戦争—
12. 舍利弗と周梨槃特 —本当の智慧とは？—
13. キサー・ゴータミとアングリマーラ
—望まれたいのちと望まれぬいのち—
14. 入滅 —死んだら終わり？—
15. 現代を生きる私と仏教

●準備学習・事後学習の内容

テキスト（『釈尊 生涯と教え』）を熟読。

●成績評価方法・基準

平常点（出席数・授業中の態度）50%、レポート50%。

●テキスト（必携）

≪No.1.≫書籍名：『釈尊 生涯と教え』、出版社：真宗大谷派宗務所出版部

●参考文献／その他

授業中、内容に応じて随時紹介。

●履修上の注意

特になし。